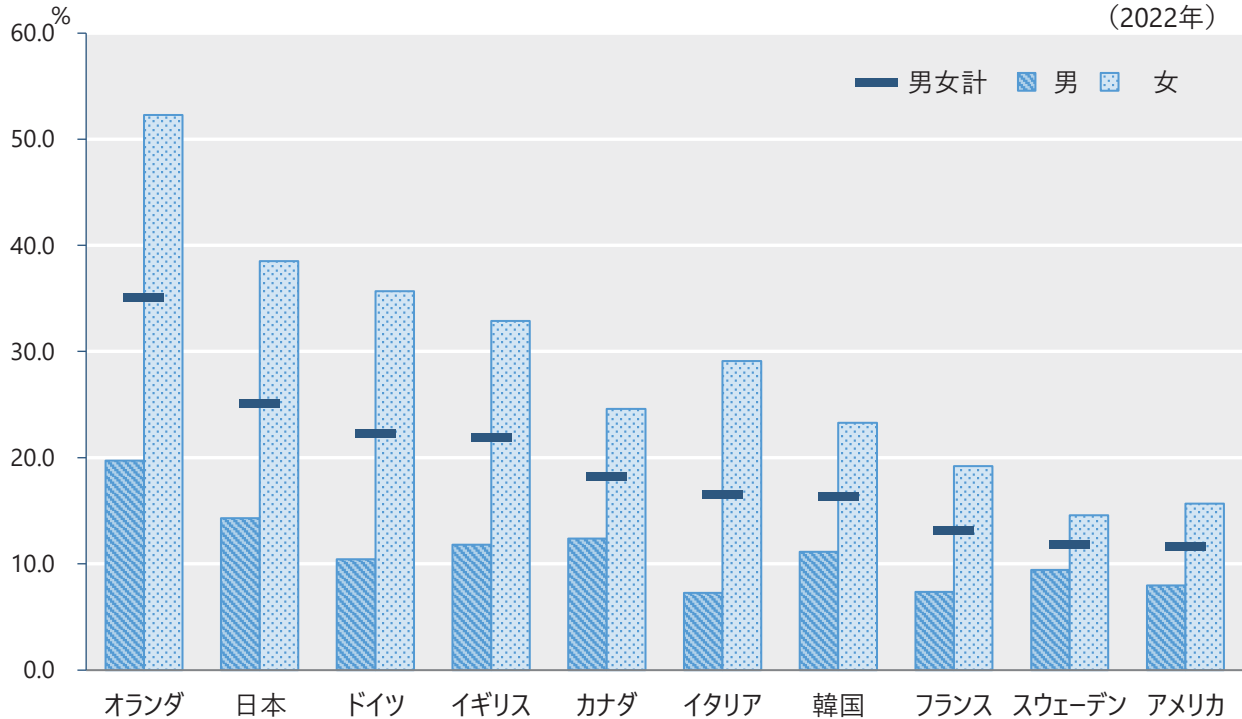


### 3-5 就業者に占める短時間労働者の割合



関連表 p.128 「第 3-8 表 就業者に占める短時間労働者の割合」

上のグラフは、通常の労働時間が週30時間未満の労働者を「短時間労働者」と定義し、就業者全体に占める割合（2022年）を各国別・男女別に示したものである（アメリカはDependent employment）。ただし、国際比較にあたっては、短時間労働者の待遇の違いなど制度面に注意する必要がある。

短時間労働者の割合が最も高いのはオランダ（35.1%）となっている。日本は25.1%、ドイツは22.2%、イギリスは21.9%などとなっている。男女別でみると、いずれの国でも、男性より女性における割合が高くなっている。女性における割合が最も高いのはオランダ（52.3%）である。日本は38.5%、ドイツは35.7%、イギリスは32.9%などとなっている。男性についてみると、オランダ（19.7%）が最も高く、日本は14.3%、カナダは12.4%、イギリスは11.8%などとなっている。